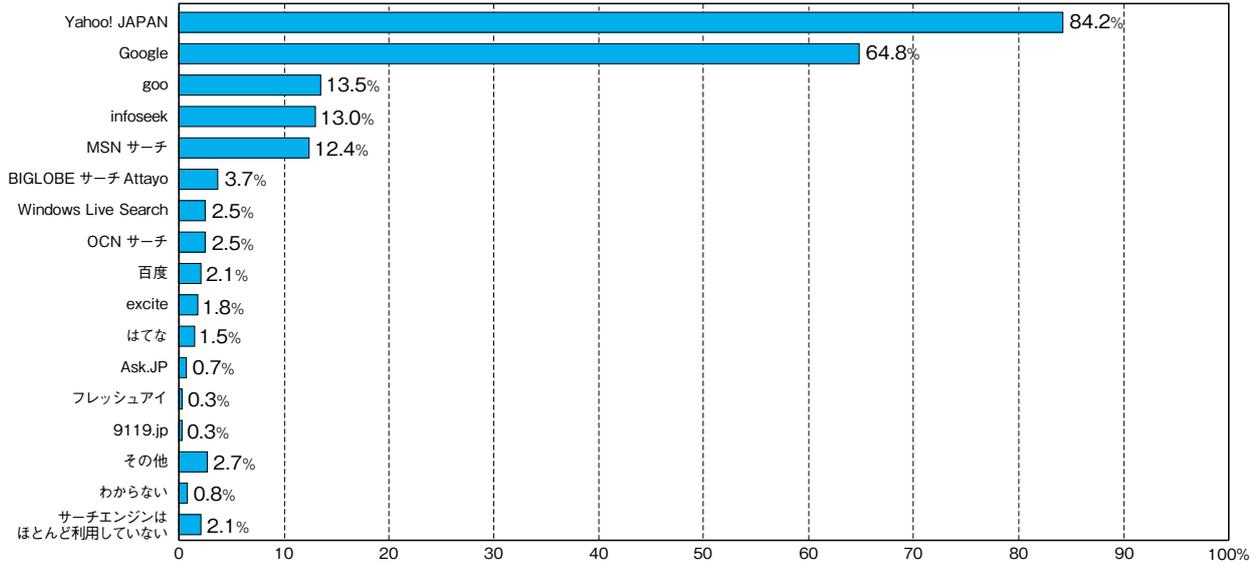


検索

■ Yahoo!JAPANが84.2%でトップ、2位はGoogleで64.8%

資料6-1-15 利用している検索サービス(複数回答) N=2,000

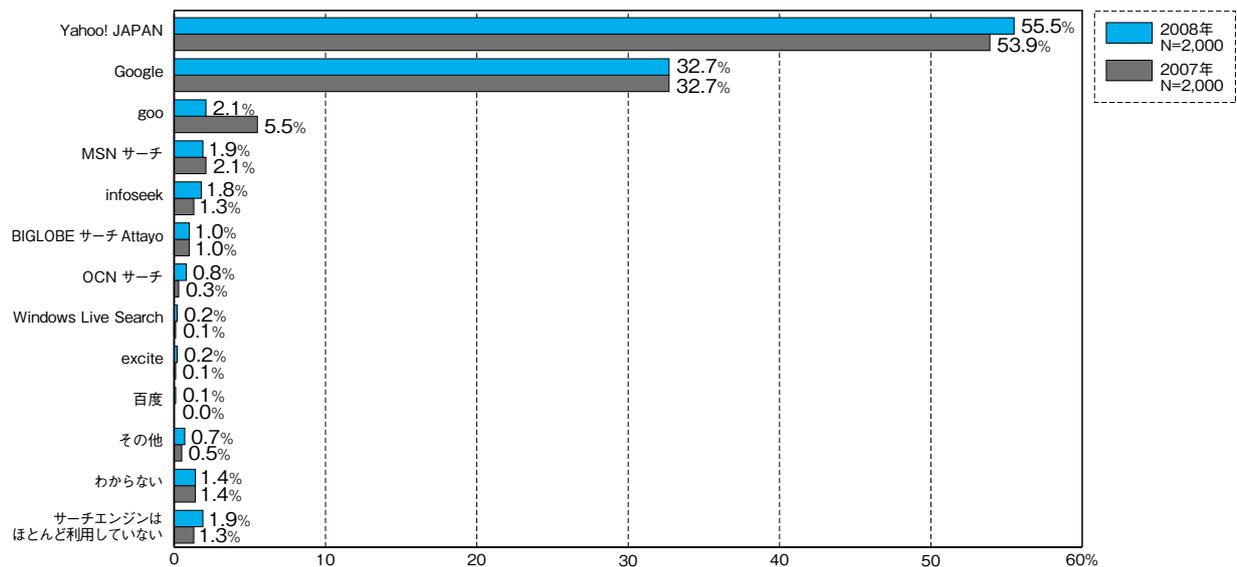


利用している検索サービスは、「Yahoo!JAPAN」が84.2%と高く、多くのユーザーが利用している。次いで「Google」が64.8%となり、3位以下を大きく引き離している。

©impress R&D, 2008

■ 半数以上が「Yahoo!JAPAN」を最も利用している

資料6-1-16 最も利用している検索サービス(単一回答) [2007年-2008年]



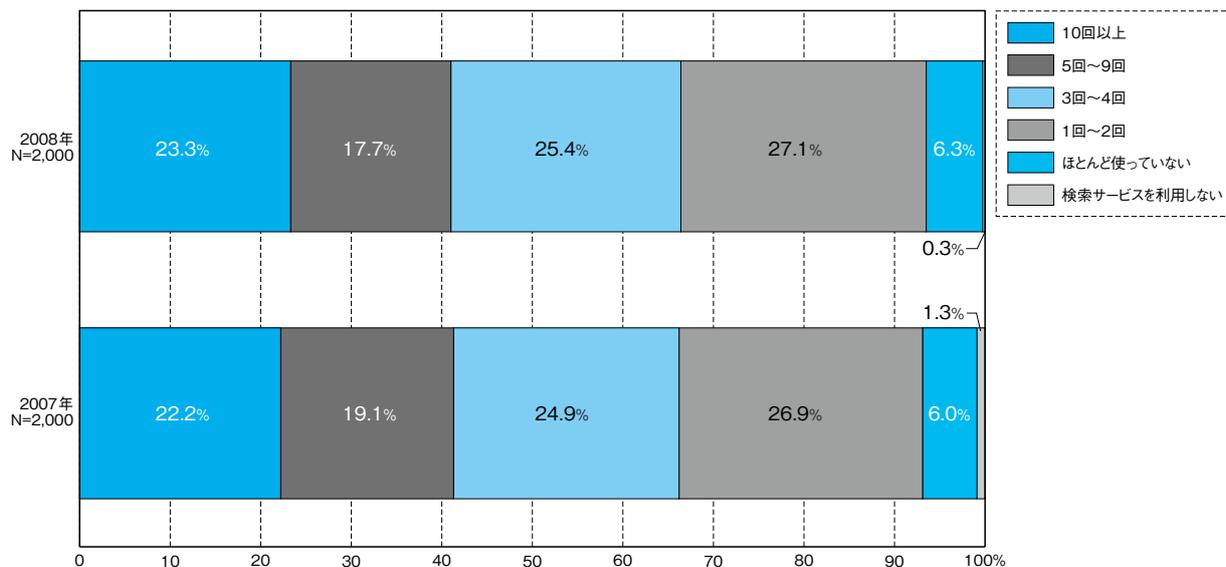
前述のうち最も利用している検索サービスをみると、「Yahoo!JAPAN」が55.5%で最も高く、次いで「Google」が32.7%である。昨年と比較しても2社のシェアはほとんど変化がなく、そのほかを大きく引き離し2社の寡占状態が続いている。

©impress R&D, 2008

検索

■ 4割のユーザーが1日5回以上検索サービスを利用

資料 6-1-17 検索サービスの1日平均利用回数[2007年-2008年]

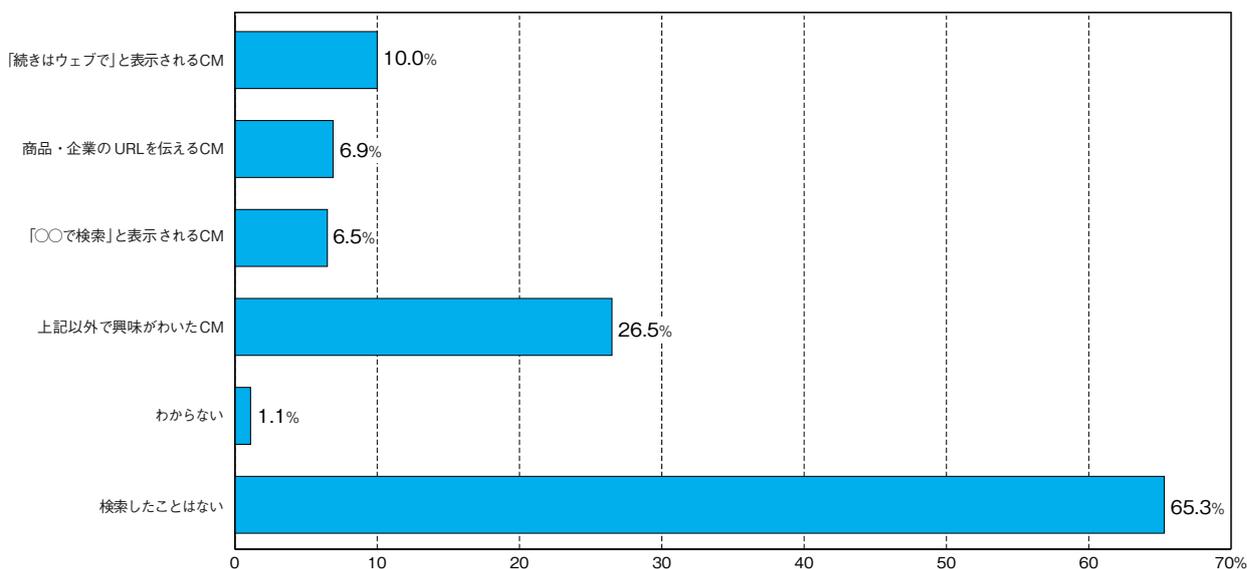


1日当たりの検索サービスの平均利用回数は、「1～2回」が27.1%で最も高く、「3～4回」を合わせると4回までの利用で半数を占めている。反対に5回以上の利用が4割強となり、4人に1人は「10回以上」と頻繁に利用している。昨年と比較して特に大きな変化はない。

©impress R&D, 2008

■ テレビコマーシャルからの検索経験は4割弱

資料 6-1-18 テレビコマーシャルからの検索経験(複数回答) N=2,000



テレビコマーシャルからウェブへの誘導方法として用いられている手法の利用状況を尋ねた。「上記以外で興味があったCM」が26.5%で最も高く、「続きはウェブで」や「〇〇で検索」といったフレーズから検索をするケースは多くない。また、検索経験は「検索したことはない」を除いた4割弱にとどまっている。

©impress R&D, 2008



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp